



工事の状況(平成25年10・11月の予定)

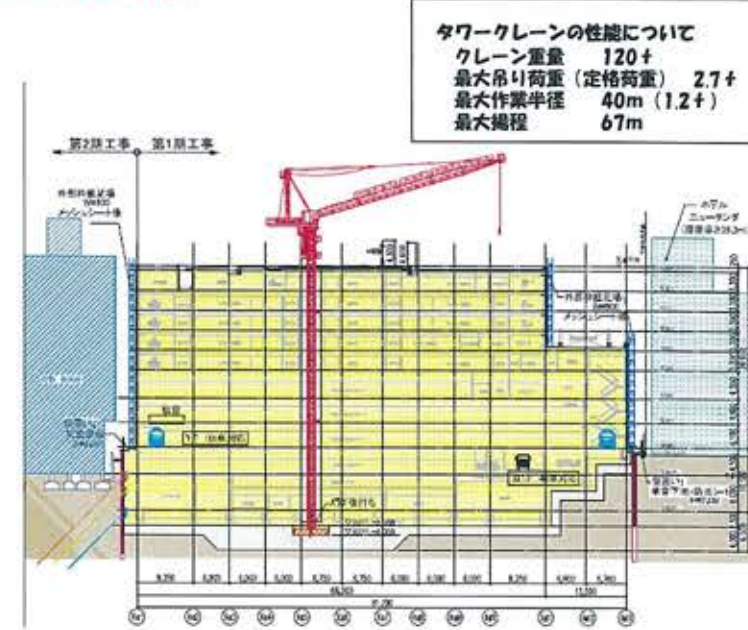
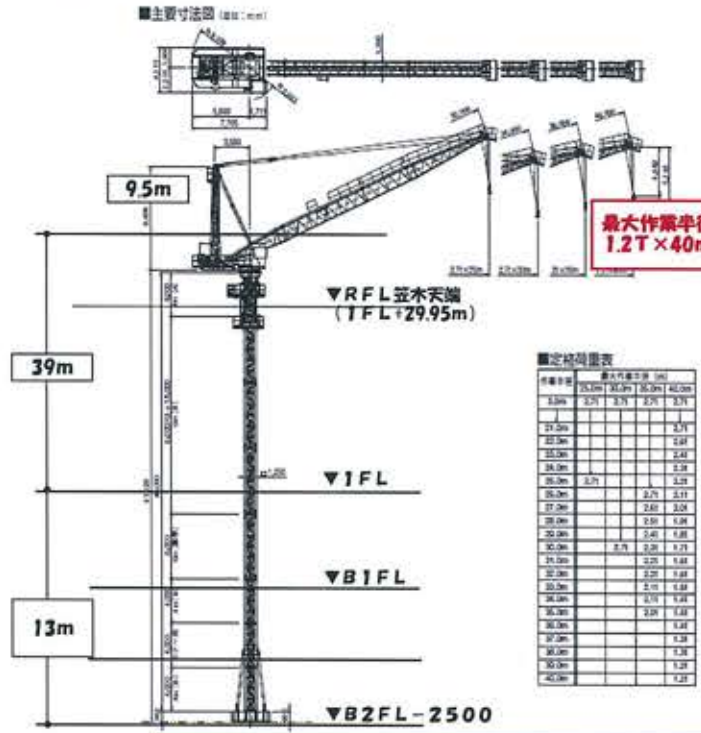
2013年 11月工事予定

	2013年 11月																															12月																			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5																
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木																
■新病院棟	仮設機重用クレーン解体・撤出(夜間作業)																																																		
仮設工事	外部足場解体・撤出(南面→東面→西面→北面)																																																		
7・8階	天井・壁内設備工事																															天井・壁LGS・ボード貼り																			
5・6階	天井・壁内設備工事																															天井・壁LGS・ボード貼り					天井・壁塗装・クロス貼り														
4階	天井・壁内設備工事																															天井・壁LGS・ボード貼り					天井・壁塗装・クロス貼り														
3階	天井・壁LGS・ボード貼り																															天井・壁塗装・クロス貼り					床・巾木仕上														
2階	天井・壁LGS・ボード貼り																															天井・壁塗装・クロス貼り					床・巾木仕上														
1階	天井・壁LGS・ボード貼り																															天井・壁塗装・クロス貼り					床・巾木仕上														
地下2・地下1階	天井・壁塗装・クロス貼り																															床・巾木仕上					床・巾木仕上														
コンクリート工事	後打ち躯体①・②・③・防水押入①・②・外場付帯設備①②③ 打設																																																		
■マニホック棟	壁解体工事																															壁① 型枠解体・撤出					建具・屋根・床仕上					設備・電気工事					(仮設機 調整)				

※ 先月に躯体上棟を終え当月は、いよいよ全階の内装仕上げ工事及び外部の仮設設備(タワー・足場等)の解体工事になります。夜間工事等も発生しますが、安全第一で進めていきますのでご理解・ご協力の程お願い致します。



今月は、先月から現場登場し今後、現場で大活躍する「タワー・クレーン」について説明します。



10月の工事写真・ダイジェスト



既存南病棟屋上から見た2013年10月末日 工事現場状況

上棟記念式状況



屋上設備機器据付状況



7階内部仕上状況



タワー・クレーンの特徴・仕組み

1. タワー・クレーンの特徴

重い物を吊り上げたり、移動させたりするクレーンの中で、高層ビルや大型建物の建設に欠かせないのがタワー・クレーンです。移動式のクレーンとは異なり、建物の敷地が狭く重機等の設置スペースのない建物の建設に適しています。移動式クレーン等の様に、入退場の経路や待機場所等を考慮せず容易に長時間の設置に適しています。タワー・クレーンは、作業が終了すれば解体し、次の建設現場に移動して再び利用します。

2. タワー・クレーンのクライミング

タワー・クレーンは高い建物をつくるために、自らよじ登ります。これを「クライミング」といい、2種類あります。「フロア・クライミング」と「マスト・クライミング」です。当現場では、「マスト・クライミング」方式を採用しています。

フロア・クライミング

鉄骨造の超高層ビルで使用するタワー・クレーンは、通常この方式を採用します。クレーンを支える台座ごと建物によじ登っていく方式です。作業半径を有効に活用できる為、比較的小さなクレーンで効率よく作業ができます。

マスト・クライミング

鉄筋コンクリート造の超高層マンションやビルは、一般的にこの方式で建てられます。クレーンの台座は最初に設置した場所から動かず、クレーンを支えるマスト(支柱)を自ら上部に継ぎ足し、その伸びた部分をクレーン部分が登っていきます。建物とは別々に設置されますので、組立・解体が比較的容易にできます。

3. タワー・クレーンの仕組み

吊り能力

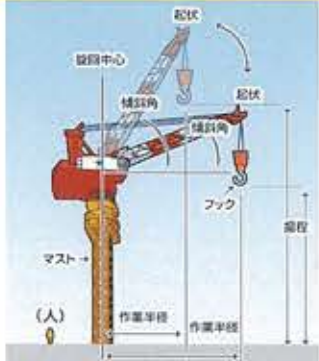
吊り能力とは、クレーンに負荷をかけられる最大の荷重の事で、ジフ(腕)の角度(傾斜度)で決まります。吊り荷の位置が遠くなるとジフをより倒す為吊り能力が低くなります。重い荷を吊り上げる場合には、吊り荷を旋回中心に近づけます。

揚程(ようてい)

地上からマスト最上端までの高さの距離の事をいいます。地下部分にフックが下がる場合はこの部分も加えます。現在の標準的なタワー・クレーンの揚程は最大300mでしたが、東京スカイツリーの建設には最大揚程420mのタワー・クレーンが使用されていました。

作業半径

クレーンの旋回中心から、フックなどの吊り具の先端までの距離を水平面に沿って測定した距離の事。



長崎さくく
「ながさき」を歩こう

大成・西海・三基・松栄 特定建設工事共同企業体

お問い合わせ TEL 095-895-7001